

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2390300016
事業所名	愛の家グループホーム名古屋北久手

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 当地に移転して10ヶ月が経過し、徐々に地域との交流が増してきた。理解ある地区役員にも恵まれて、各種地域行事への招待には利用者と職員が積極的に参加している。 ホームの相談室を地域コミュニティールームに提供する旨申し出ており、地域社会への貢献意欲も旺盛である。	評価	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 移転後管理者（ホーム長）の不在期間が続いたこともあって、ようやく10ヶ月経った8月末に第1回の運営推進会議が開催できた。 行政・地域代表・知見者等への案内・参加要請は次回からの予定で進めている。	評価	×
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 行政（市・区）との交流は、介護認定時に係わる程度で殆ど行き来はない。 地域行政（町内会）との交流は軌道に乗りつつある。	評価	×
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 家族の訪問は比較的多く、いつでも、どこでも言いたいことがあれば受けるといふ姿勢で臨んでいる。 意見・要望は口頭や電話で受けることが多く解決できるものから対応している。 ホーム便りの見直しや意見箱の設置場所を改善するなど、利用者・家族等の立場に立った運営を目指している。	評価	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価	
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	評価	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	評価	×
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価	×
総合評価		評価	×

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	認 事 項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	×	×	○	×	×	×	×				